

はじめに

背景

私たちの周りにあり、生活を彩る花々。それは自然だけでなく、家の中も彩ってくれる。そんな生け花を長く眺めていたい。そんな思いが僕たちの心を動かした。生け花を延命するには何が一番効果的か、一番身近にある延命方法は何か。そんな目標をもって高みを目指した漢たちの物語である。

問い (本研究で明らかにすること)

生け花を育てる際に市販の延命剤を使わずに既存の情報を活用して延命させる方法はなにか

意義

- ・延命剤を買うのはもったいないため、身近なもので代用できる方法を見つけて長く楽しませることができる。
- ・ネットですでに認知されている情報を再度自分たちの実験で確かめ、本当にあっているかを証明する。

研究対象と方法

実験はすべて500mlの水に一輪のカーネーションを以下のものを一緒に入れて育てた

①ネットの情報で二週間実験
硬水、延命剤、洗剤10ml、水換え、唾液10gと1g 何もしない ラムネ11g(糖) 銅片13.03g(十円玉3枚分)

②砂糖、銅の最適量を調べる実験と洗剤で13日間実験 (以下ラムネを砂糖に変える)

①と同じで、砂糖5g 十円玉1枚
十円玉6枚 洗剤0.32g

③新たな方法を探す (水替えありで二週間育てた)

砂糖10g + 十円玉6枚 + レモン汁0.2g

砂糖10g + 十円玉6枚

レモン汁0.2g

延命剤

何もしない

その後容器内の液体でCODを実施

まとめ(結論・考察・今後の展望)

考察

今回の実験結果から水替えは必須条件であり、水替えをした砂糖と銅の水溶液で育てた個体の方が長くきれいさを保てたことから、植物を育てるうえで水の衛生状態が最重要事項であることが考えられる。

問いの答 (本研究で明らかになったこと)

十円玉6枚と砂糖5gを入れたら延命剤と同じくらい生き残る

今後の展望

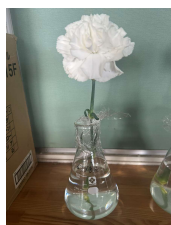
普通生け花は数本で育てる。花などの植物からは『エチレン』がでる。さらに『茎のぬめり』や『カビをなくすには?』などの対処法も考えたい。

結果

①の結果

	水換え	硬水	洗剤	延命剤	だ液1g	だ液10g	銅	何もしない	ラムネ
生き残ったか	○	×	×	○	×	×	○	×	○
ぬめりの有無	×	×	×	○	×	×	×	×	○

②の結果



育てる前



延命剤



十円玉6枚

ラムネで育てた花の茎にカビが生えてた。

砂糖の量と銅の量には違いがあるのか

砂糖5g、十円玉6枚で育てた花が生き残った

どの組み合わせが一番効果的なのか

③の結果



育てる前



延命剤



銅砂糖

砂糖 + 十円玉6枚、延命剤が生き残った